

スピーチの活動や家庭で活用する

(小学校第3学年)

【活用した資料】

- 小学校版「心しなやかに」 p.30~p.31 第一章 「先人のことば」を あつめて みよう

【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 児童が選んだ言葉に応じて、道徳の内容項目から設定。

○ 朝の会でのスピーチや家庭での取組として。

「心しなやかに」第一章「先人のことばに学ぶ」の中から、自分の好きなことばを選ばせて、「心しなやかに」p.30に書き込ませ、朝の会で一人ずつ発表をさせました。選んだことばを音読してから、そのことばを選んだ理由や、そのことばから感じたことや考えたことを伝えさせるようにしました。発表を聞いている児童は、他の児童の発表を聞いて、ことばの意味への理解が深まったり、そのことばのよさに気付いたりすることができていました。

また、家庭での取組として、「心しなやかに」第一章に載っていない「先人のことば」を自分で調べ、「心しなやかに」p.31に書き込み、同じように発表する活動に取り組みせました。保護者に音読を聞いたり、ことばの読み方を教えたり、一緒に意味を調べたりしていただくことで、保護者にも道徳教育について関心をもっていただくことができました。

自分で調べた「先人のことば」は、発表後にシートに記入して掲示していつでも見られるようにするとともに、学校公開や道徳授業地区公開講座の際に、保護者や地域の方にも見ていただきました。

○ 朝の会でのスピーチの例

わたしは、好きな「先人のことば」として、「玉磨かざれば光無し」を選びました。

「玉」というのは、宝石のことだそうです。どんな宝石も掘り出しただけでは、ただの石と同じです。それをていねいに磨いていって、はじめて光り輝く宝石になるのです。そこから、このことばは、すぐれた才能や素質をもつ人でも、努力して自分を磨かいていかなければ、その才能や素質をいかすことはできないという意味で使われます。

わたしは、自分にどのような才能や素質があるのか、まだ分かりません。でも、得意なことや自分のよいところを見つけて、それを一生けん命、磨いていきたいと思います。

母に、この話をしたら、母も小学生のころに先生から…

友達と紹介し合うことで、先人のことばに親しむことができ、意味も自然に理解することができるでしょう。